

地域密着型金融推進計画

当金庫は、経営理念に添った「地域密着型金融推進計画」を通じて、活力ある地域社会の実現を目指し、地域における企業支援・金融の円滑化等の推進を図ることとしております。

平成23年度も重点項目を策定し、地域密着型金融に向け取組み、機能強化を図ってまいりました。

平成23年度「地域密着型金融推進計画」の取組みの概要

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資や中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

4. 会員への機能向上等に向けた取組み
5. 地域環境への貢献

「地域密着型金融推進計画」の成果概要

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援機能等の強化を図る。

・地元福島大学との産学官連携協力を推し進めましたが、実績には至りませんでした。今後も産学官連携の拠点である「地域創造支援センター」の積極的活用に取り組みます。

取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化を図る。

・主要取引先25社を支援企業としてリストアップし、企業の特性や課題・問題点分析を通じて経営改善支援強化を行い、ランクアップおよびランクダウン阻止を図りました。

・中小企業支援ネットワーク強化事業として専門家を5社に派遣し企業体質改善に努めました。

・税理士との連携により、12社において課題・問題点・具体的改善策の共有化を図りました。

2. 事業価値を見極める融資や中小企業に適した資金供給手法の徹底

企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

・外部団体が主催する「事業再生支援」「目利き力養成」関連の研修へ、本部主管部及び営業店融資担当者を積極的に派遣し、人材の育成・スキルの蓄積に取り組んでいます。（「目利き養成」部門では、4名派遣）

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

若手経営者・後継者を対象とした「経営支援セミナー」を2回（延べ28名参加）開催しました。

相談業務に対応するため、全店午後5時まで営業時間を延長し、延べ171件のご相談をお受けしました。

（4、5月は休止）

年金相談会を3回開催し、89人のご相談をお受けしました。

3店舗で原則毎月1回「サンデー相談会」を開催し、延べ41件のご相談をお受けしました。

「まつしん地域活性化ワーキンググループ」では、各種団体から要望や提案を聞き取り、グループで

討議を重ねてきました。具体策として「共同掲示板」「パンフレット・スタンド」を設置し、約30店舗からお申し入れがあり商店街との共同キャンペーンとして「商店街応援キャンペーン」を行い88店舗（平成24年2月時）にご参加いただきました。

4. 会員への機能向上等に向けた取組み

「ディスクロージャー誌」「半期ディスクロージャー誌」の公表・活用を実施いたしました。

地区別総代懇談会を全地区実施し、当金庫の情報開示を「ご意見・要望」をお伺いいたしました。

会員からの意見・要望について「第7回アンケート」を実施しました。

5. 地域環境への貢献

地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

・環境保全の展開に役立てるためエコ定期積金の販売（平成23年12月～24年2月）を行い、その契約額の0.01%相当を（財）ふくしまフォレスト・エコライフ、社会福祉法人 あだち福祉会に寄付することをに取り組みました。

寄付金については、自然関係の図書等の購入や緑化保全に有効に活用されております。

地域の中で環境問題への取組みとして、ISO14001活動を継続し、また地球温暖化防止のための「福島議定書」へ参加するなど、環境保全に努めました。